



ベトナム無償資金協力「ホーチミン市非開削下水道管路更生計画」工事契約署名式の開催

日本の非開削技術でホーチミン市中心部の老朽下水道管路を更生



2026 年 8 月 21 日

国際協力機構（JICA）ベトナム事務所

8 月 21 日、ホーチミン市において、JICA 無償資金協力「ホーチミン市非開削下水道管路更生計画」の工事契約署名式が開催されました。本式典には、実施機関であるホーチミン市都市インフラ建設投資プロジェクト管理機関（UICI）、施工を担う株式会社ヤスダエンジニアリング（ヤスダ社）、JICA 関係者が出席しました。

本事業は、ホーチミン市中心部において老朽化した既設下水道管路を更生することにより、排水・下水道管路網の機能向上と道路陥没リスクの軽減を図り、公衆衛生環境の改善と都市のレジリエンス強化に貢献することを目的としています。ホーチミン市では、フランス統治時代に整備された老管路の劣化が進み、浸水被害や道路陥没、地下水汚染などが課題となっており、本事業はそれらへの対策として実施されるものです。

今回、事業の主要工事を対象とする契約がヤスダ社と UICI との間で締結されました。交通量が多く、開削工法の適用が困難な市街地において、道路を掘り起こすことなく下水管路の更生を可能とする非開削工法を用いて、道路交通や周辺住民・事業活動への影響を最小限に抑えながら施工が進められる予定です。事業全体では、市中心部の老朽化した下水道管路約 2.1 キロメートルを対象に更生を行い、排水能力および外圧に対する耐力の向上を図ります。

JICA はこれまでベトナムにおいて、下水道・排水分野のマスタープラン策定、下水処理場や管路の整備、浸水対策などを支援してきました。ホーチミン市においても、「ホーチミン市下水・排水マスタープラン」の策定支援や「ホーチミン市水環境改善事業」等を通じて水環境改善に取り組んできました。また、2015 年には大阪市及び日本企業の技術を活用した非開削工法のパイロット事業を実施し、その取組が本事業の形成につながりました。

本事業を通じて、日本の非開削管路更生技術を活用した老朽インフラの効率的な更新が期待されます。加えて、施工を通じた技術移転や能力強化により、ベトナムにおける非開削技術の普及促進にも寄与することが期待されます。JICA は今後も、ベトナムの持続可能な都市開発および生活環境の改善に向けた協力を推進していきます。

事業概要は以下のとおりです。

事業目的・内容：ホーチミン市において、非開削工法による既設老朽管の更生を行うことにより、市中心部での排水・下水管網の機能低下の防止及び道路陥没事故のリスク軽減を図り、もって同地域の脆弱性への対応に寄与するもの。

今後の事業実施スケジュール(予定):2026 年 8 月から 2028 年 11 月まで



(写真)



工事契約署名式全体の様子



署名の様子

お問い合わせ： JICA ベトナム事務所 広報班 Tran Thi Thu Trang

Tel: (+84-24) 3831 5005 (内線 125) E-mail: Tran-ThiThuTrang2@jica.go.jp